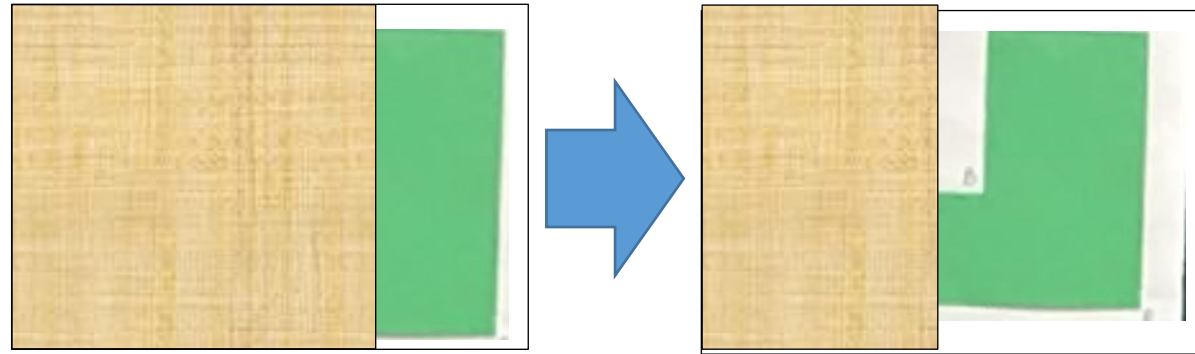


1、問題提示の工夫・・・少しずつずらす（長方形（既習）→L字型図形（本時取り組む複合図形）

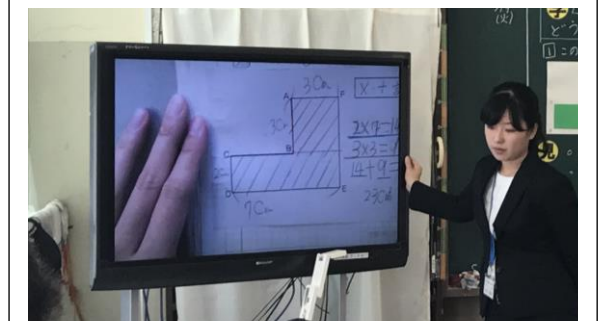


【この授業のハイライト】

- ① 3つの方法を比べて、子どもたちはどんなことに気づくか？
⇒本時、見につけたい数学的に考える資質・能力である。
- ② 定着・活用の時間を確保し、本時学んだことを使えばできそうだという意識まで高める。⇒右下の最後に見せた図が秀逸。

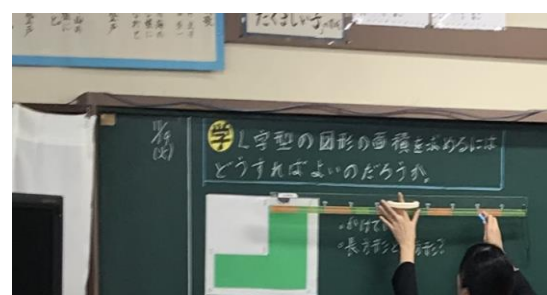
※最初の3つは長方形や正方形の面積の足し算
最後の1つは、長方形同士のア積の引き算
※どちらも複数の長方形に分けて考えている。

5 個人追究の結果は大きく見せて皆で共有。



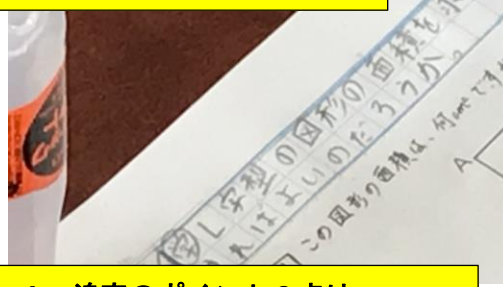
2 見出しプレートの活用

学：学習問題 見：見通し
ポ：ポイント ※毎時間使用



3 学習課題を直定規を使って直線で囲む
→板書が引き締まる（やってみましょう）
※秋田、山形、熊本、沖縄、高知 当たり前

◎児童のノートも同じ。
問題は直線で囲まれている

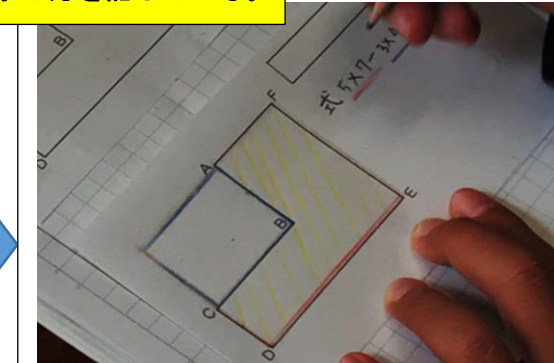
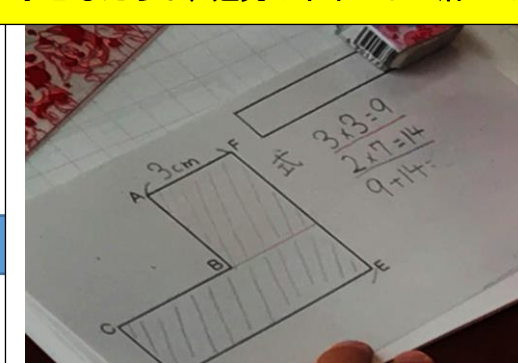
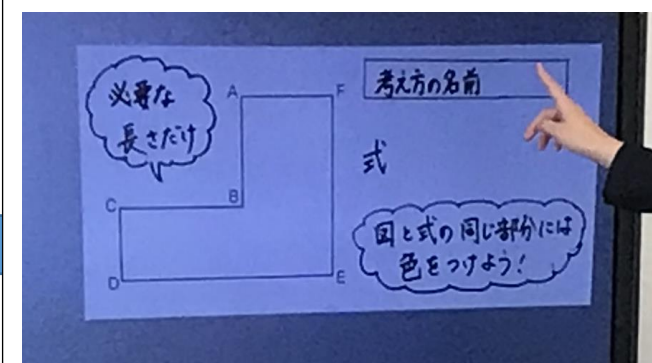


4 追究のポイント2点は
ICTを使って「見える化」する

カードを画面カメラの下に置く。
録画機能ボタンで保存
個人追究の時間の間、提示する



◎ 子どもたちは、追究のポイントに沿って面積の求め方を記している。



【千葉市の状況】

「授業で勝負」

教職員の平均年齢 38.6 歳

10 年未満の職員 48%

○左の授業者も初任 4 年目
くらいの方。学習指導の
基礎基本が身についていた。

【授業から】

- ・テンポのよい授業
- ・導入場面に工夫あり①
- ・見出しプレートの活用が
日常的→板書が構造的
- ・学習問題を直定規を使って
ラインボックスで囲んでいる。

→日々良い授業をして
いるかの1つの観点に
なる。

- ・ICTを効果的に活用。
書画カメラの使い方が上手
- ・アナログとしての色画用紙
の使い方も分かりやすい。
- ・まとめまで約 35 分。
残りの 10 分で定着問題。

・定着のコの字型の問題提示
が上手。最初ちらっと見せる
だけ。児童の集中力が高まる
・できるだけ簡単な方法でや
ってみようという指示。

（取り外し式：引き算）で行
う児童が半数近くいた
・最後に見せた図が秀逸

